

スコアシート		実施設計段階							
配慮項目		環境配慮設計の概要記入欄		評価点	重み係数	評価点	重み係数	全体	
Q 建築物の環境品質									3.3
Q1 室内環境					0.40		-		3.3
1 音環境				3.0	0.15		-		3.0
1.1 室内騒音レベル				3.0	0.40		-		
1.2 遮音				4.1	0.40		-		
1 開口部遮音性能				3.0	0.30		-		
2 界壁遮音性能		2階普通教室-5:Dr予測値=40		4.0	0.30		-		
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		2階普通教室-5:Lr予測値=30		5.0	0.20		-		
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		2階普通教室-5:Lr予測値=30		5.0	0.20		-		
1.3 吸音				1.0	0.20		-		
2 温熱環境				2.8	0.35		-		2.8
2.1 室温制御				3.4	0.50		-		
1 室温				3.0	0.60		-		
2 外皮性能		窓SC0.49窓U4.2壁U0.958屋根U0.54		4.0	0.40		-		
3 ゾーン別制御性					-		-		
2.2 湿度制御				1.0	0.20		-		
2.3 空調方式				3.0	0.30		-		
3 光・視環境				3.8	0.25		-		3.8
3.1 昼光利用				4.2	0.30		-		
1 昼光率		2階普通教室-5:昼光率2.5%以上		5.0	0.60		-		
2 方位別開口					-		-		
3 昼光利用設備				3.0	0.40		-		
3.2 グレア対策				4.0	0.30		-		
1 昼光制御		2階普通教室-5:カーテン+庇にてグレアを制御している		4.0	1.00		-		
3.3 照度		2階普通教室-5:照度500lx		4.0	0.15		-		
3.4 照明制御				3.0	0.25		-		
4 空気質環境				4.0	0.25		-		4.0
4.1 発生源対策				4.0	0.50		-		
1 化学汚染物質		建築材料はJIS・JAS規格のF☆☆☆☆をほぼ全面的に採用		4.0	1.00		-		
4.2 換気				3.3	0.30		-		
1 換気量		2階普通教室-5:換気量=基準法33.8m ³ /h×1.7倍		5.0	0.33		-		
2 自然換気性能		自然換気有効開口面積は、2階普通教室-5の床面積の1/15以上		4.0	0.33		-		
3 取り入れ外気への配慮				1.0	0.33		-		
4.3 運用管理				5.0	0.20		-		
1 CO ₂ の監視				-	-		-		
2 喫煙の制御		全館禁煙にて、屋外も喫煙コーナーを設置していない		5.0	1.00		-		
Q2 サービス性能				-	0.30		-		3.5
1 機能性				4.0	0.40		-		4.0
1.1 機能性・使いやすさ				4.0	0.40		-		
1 広さ・収納性					-		-		
2 高度情報通信設備対応					-		-		
3 バリアフリー計画		バリアフリー新法の円滑化基準を満たす		4.0	1.00		-		
1.2 心理性・快適性				5.0	0.30		-		
1 広さ感・景観		2階CR-5:天井高2.7m以上確保		5.0	0.50		-		
2 リフレッシュスペース					-		-		
3 内装計画		・大開口部を設け、通風・採光を確保 ・地場産の木材を造作材や壁・天井の仕上材に活用 ・間仕切壁を軽量鉄骨壁下地とし、将来的な変更要望にフレキシブルに対応可能な計画		5.0	0.50		-		
1.3 維持管理				3.0	0.30		-		
1 維持管理に配慮した設計				3.0	0.50		-		
2 維持管理用機能の確保				3.0	0.50		-		
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30		-		2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-		
1 耐震性(建物のこわれにくさ)				3.0	0.80		-		
2 免震・制震・制振性能				3.0	0.20		-		
2.2 部品・部材の耐用年数				2.8	0.30		-		
1 躯体材料の耐用年数				3.0	0.20		-		
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔				2.0	0.20		-		
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔				3.0	0.10		-		
4 空調換気ダクトの更新必要間隔				3.0	0.10		-		
5 空調・給排水配管の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
6 主要設備機器の更新必要間隔				3.0	0.20		-		
2.4 信頼性				3.2	0.20		-		
1 空調・換気設備				3.0	0.20		-		
2 給排水・衛生設備				3.0	0.20		-		
3 電気設備				3.0	0.20		-		
4 機械・配管支持方法		動的解析を行った上で設計用水平震度KHを1.5以上としている		4.0	0.20		-		
5 通信・情報設備				3.0	0.20		-		

3 対応性・更新性			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 空間のゆとり			4.2	0.30	-	-	
1	階高のゆとり	各階階高3.9m以上	5.0	0.60	-	-	
2	空間の形状・自由さ		3.0	0.40	-	-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30	-	-	
3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	
3	電気配線の更新性	ケーブルラック、EPS、コロガン配線(Fケーブル)、配線用配管を採用	5.0	0.10	-	-	
4	通信配線の更新性	ケーブルラック、EPS、コロガン配線(Fケーブル)、配線用配管を採用	5.0	0.10	-	-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	3.0
1 生物環境の保全と創出			3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30	-	-	3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50	-	-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.4
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.6
1	建物外皮の熱負荷抑制	BPI _m =0.58	5.0	0.22	-	-	5.0
2	自然エネルギー利用		-	-	-	-	-
3	設備システムの高効率化	BEI _m =0.74(非住宅)、LED照明設備を採用	3.6	0.56	-	-	3.6
4 効率的運用			2.5	0.22	-	-	2.5
集合住宅以外の評価			2.5	1.00	-	-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
4.2	運用管理体制		2.0	0.50	-	-	
集合住宅の評価			-	-	-	-	
4.1	モニタリング		-	-	-	-	
4.2	運用管理体制		-	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護			3.4	0.20	-	-	3.4
1.1	節水	自動水栓及び泡沫水栓に加えて、節水型便器の採用	4.0	0.40	-	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.2	0.60	-	-	3.2
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.10	-	-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.20	-	-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.20	-	-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	ビニル床材:内装床	3.0	0.20	-	-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		2.0	0.10	-	-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	躯体+軽鉄+仕上げのデテール及び可動間仕切りを採用	5.0	0.20	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.7	0.20	-	-	3.7
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			4.0	0.70	-	-	
1	消火剤		-	-	-	-	
2	発泡剤(断熱材等)	ODP=0かつGWP=1の高性能なフロン断熱材を採用している	5.0	0.50	-	-	
3	冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.3
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率=88%	3.4	0.33	-	-	3.4
2 地域環境への配慮			3.4	0.33	-	-	3.4
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
2.2 温熱環境悪化の改善		見付面積比40%未満及び隣棟間隔指標Rw0.5ポイント以上	4.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3	交通負荷抑制		2.0	0.25	-	-	
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33	-	-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
1	騒音		3.0	1.00	-	-	
2	振動		-	-	-	-	
3	悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			2.6	0.40	-	-	
1	風害の抑制		3.0	0.60	-	-	
2	砂塵の抑制		1.0	0.20	-	-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.20	-	-	
3.3 光害の抑制			4.4	0.20	-	-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	公共施設用の照明率の高い器具を採用、広告物照明を行っていない	5.0	0.70	-	-	
2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	